



2016年
助戸市民劇場 30

手作り映画で観る足利・両毛

足利映像クラブは、お陰様で第5回目の公開上映会を迎えます。この街が好きな一市民がカメラ片手に「どうしても撮りたい！」そんな衝動と「映像の力」を信じて取材を重ねた渾身の手作り映像です。人々の営みが「映像」を媒介に、強い「記憶」に、そして「次の時代」につながる。市民映像ならではの束縛されない自由な表現であなたも映画作りに挑戦してみませんか？

当日は、造形作家・成安造形大学名誉教授 小林はくどう氏の「作品講評と市民映像の展望」と題して講演も予定しています。

日時：6月26日（日） 開場：12:40 開演：13:10～16:10

会場：助戸公民館ホール（足利市助戸仲町 453-2 ☎0284-44-0791）

＜入場無料・事前申込不要＞ 主催：足利映像クラブ 共催：助戸公民館

＜プログラム＞

第1部	① 「奥能登 とり残されし者」	15分	松島 健一朗（足利）	16年	32年前の動画に習いたてのPC編集で念願の完結。作者の想いが伝わる。
	② 「間々田紐を継ぐ四代目」	10分	篠崎 翼子（佐野）	16年	代々の伝統工芸を継ぐ母と息子の思いを伝えます。
	③ 「現代版 お伊勢詣り」	13分	新開 朝一（小山）	83年	伊勢フジフィルム撮影会コン入賞（テレシネ）全編がマニュアル撮影作品。
	④ 「足利の学童クラブの今」	18分	川岸 洋子（足利）	16年	放課後の学童保育所。民設民営の現状に迫ります。
	⑤ 「先生、かっこいいじゃん！」	20分	石川 勝（足利）	16年	南米フォルクローレに没頭する足利の中学教師4人組の23年の想い。
	⑥ 「声援～75年足学甲子園出場の記録～」	11分	岡田 忠治（足利）	75年	習志野戦で躍動する大応援団、ナインの奮闘、沸き立つ熱気が伝わってくる。
＜休憩＞					
第2部	⑦ 「友禅流し～織都の技体験～」	1分30秒	阿部 善明（太田）	15年	15年シルクカントリーぐんま映像フェスタ準大賞。織都桐生で01～03年清流友禅流しが復活、若い力に夢が託された。
	⑧ 「眠そうな駅」	7分	中山 満（横浜・佐野出身）		招待作品 飛騨高山映像コン入賞。作者の故郷佐野駅をテーマにしました。
	⑨ 「ごみひろいも乙だよ！」	7分	大谷 一夫（太田）	16年	26年目の足利クリーンハイクでカタクリの里、小俣城山～姥穴山を訪ねた。
	⑩ 「イノシシ」	10分	嶋田 信久（大平）	16年	増えるイノシシ、減るハンター、地域ぐるみの獣害防止対策の記録。
	⑪ 「神様がホントに還ってきたよ」	20分	石川 勝（足利）	16年	被災した鶴住居神社神輿に奔走する足利発うのすみ神輿つくり会のドキュメント。
第3部	小林はくどう氏 講演「作品講評・市民がつくる映像の未来」 （略歴）NPO法人市民がつくるTVF代表 44年仙台生まれ 多摩美大卒 日本現代美術展や大阪万博に出展 79年より国際的な「東京ビデオフェスティバル」の審査委員に31年 ビクター撤退後もNPO法人TVFで通算38回続く世界でも稀有な市民映像祭を主導				

<足利映像クラブの紹介>

平成21年の6月に生涯学習センターの「ビデオ市民講座」の修了生を中心に結成されました。それぞれのメンバーが「文化が栄えた所には、必ず映像が記録される。故郷の人々の記憶映像を通して呼び起こす。足利の喜怒哀楽が世界に繋がる」を合言葉に、地域に根ざしたものを題材に、映像に記録しています。

結成7年目 市民企画実践講座「世界にひとつだけの映画を作りませんか」の受講生12名で結成。

毎月 第2か第3水曜日 夜7時～足利市民活動センターで活動しています。

問合せ先 足利映像クラブ 代表 石川 勝(☎090-5324-4258)

～ジャンル問わず 会員募集中～